


これはらくらくパワポ君のユーザ操作画面です。
今から、らくらくパワポ君で資料を作る方法を説明します。

 らくらくパワポくん—□×

既存のものが新規作成か

既存

▼

パワポのファイル名

▼

画像ファイル名(好きなイメージ)

▼

参照

配色パターン

イラストを再現する

▼

作成する！

①「新規作成」を選択

らくらくパワポくん

既存のものが新規作成か

パワポのファイル名

画像ファイル名(好きなイメージ)

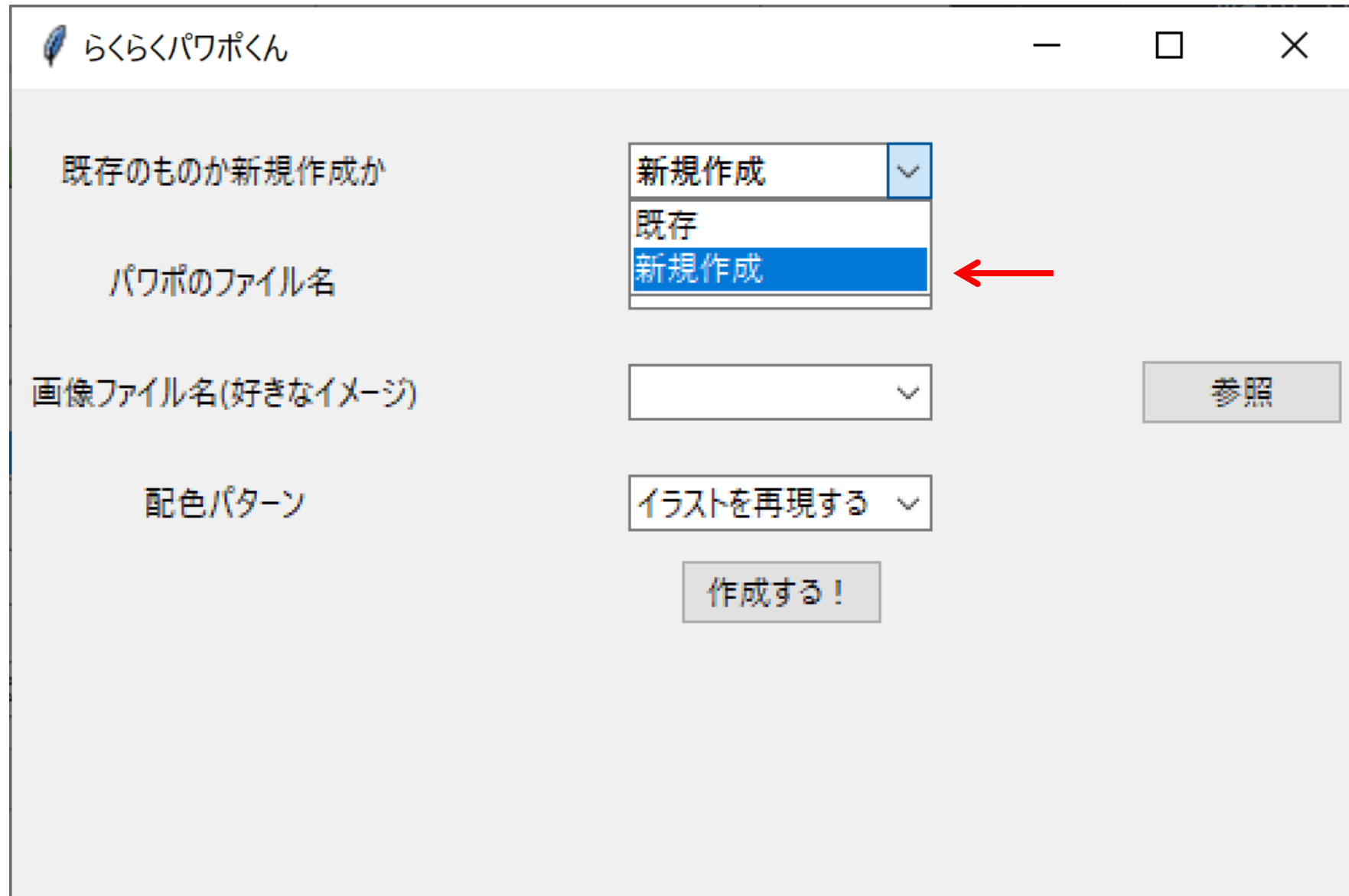
配色パターン

新規作成
既存
新規作成

参照

イラストを再現する

作成する！



②作成する資料のタイトルを入力

らくらくパワポくん

既存のものが新規作成か

パワポのファイル名 ←

画像ファイル名(好きなイメージ) 参照

配色パターン

作成する！

③色をマネしたい画像を選択

らくらくパワポくん

既存のものが新規作成か

パワポのファイル名

画像ファイル名(好きなイメージ)

配色パターン



今回はこの資料を公開するにあたって著作権を考慮し、自分で描いたイラスト（画像）を選択しています。

③ 「作成する！」ボタンを押下

らくらくパワポくん

既存のものが新規作成か

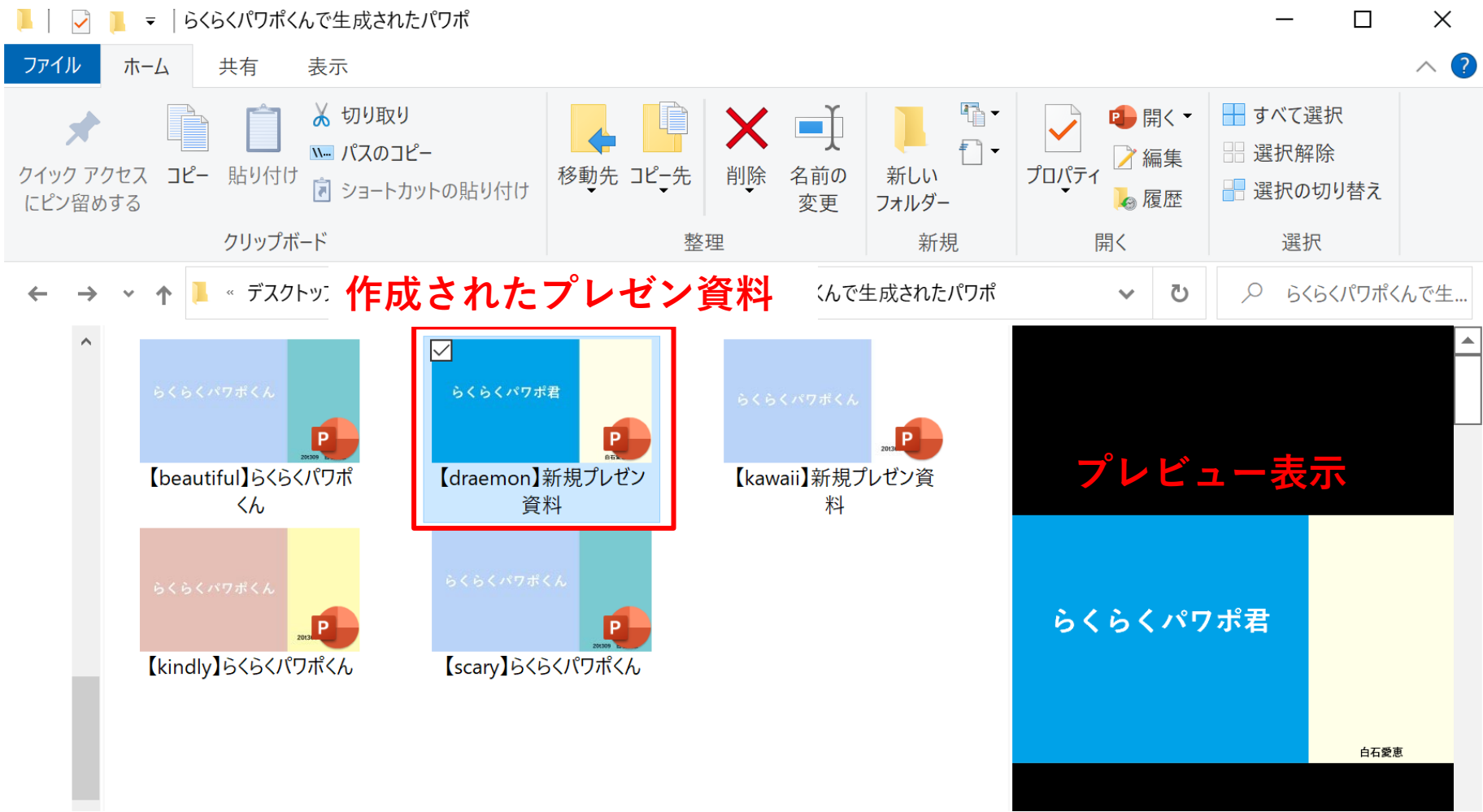
パワポのファイル名

画像ファイル名(好きなイメージ)

配色パターン

←

これでらくらくパワポ君によって新しくプレゼン資料が作成されました。



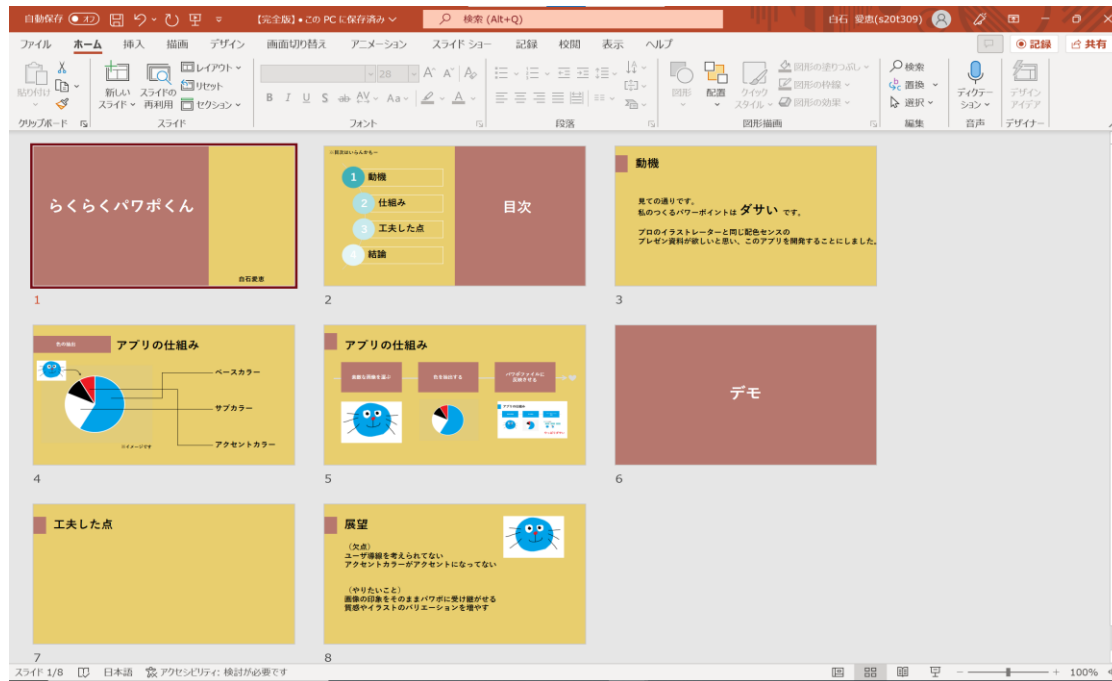
既定のローカルのフォルダーに作成されたパワポファイル【doraemon】新規作成プレゼン資料ができています。ファイル名は【参照した画像のファイル名】入力したファイル名となっています。

結果の比較

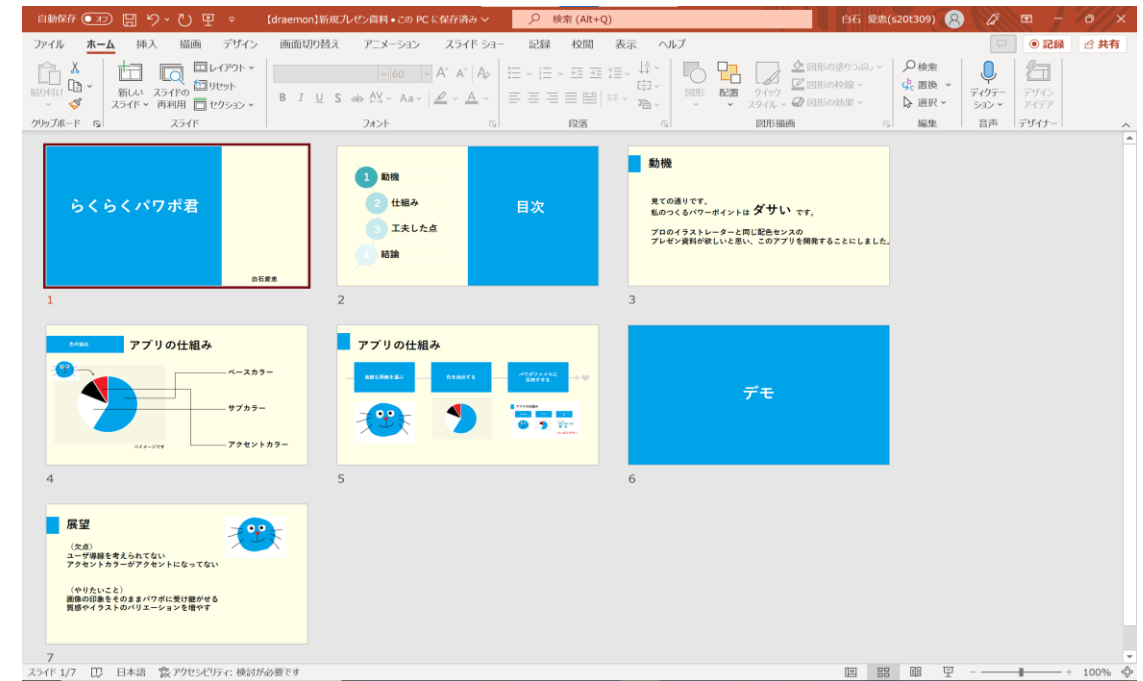
何となく選んだ画像と同じ配色に
プレゼン資料が変化してる！！



選んだ画像



色を変更する前のプレゼン資料



らくらくパワポ君によって
色を変更されたプレゼン資料

らくらくパワポ君の内部の動作



① 選んだ画像に使用されている色を抽出し、3つに分類する。

ベースカラー（背景色）
サブカラー（図形の色）
アクセントカラー（強調色）

使用したライブラリ

matplotlib

cv2

numpy

KMeans

② 既存のパワーポイントファイルの色を変えたい部分を読み取って配色を先ほど分類した色に変更する。

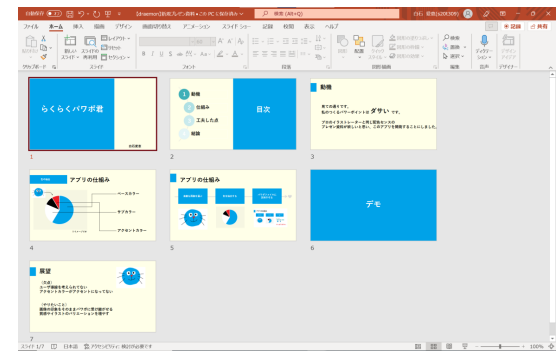
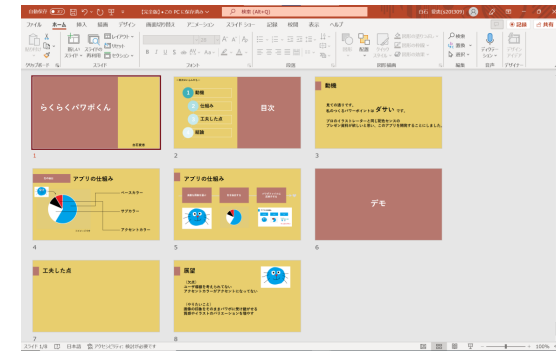
図形や文章には事前にどの色にするかのタグをつける。

(base) : ベースカラー（背景色）
(sub) : サブカラー（図形の色）
(accent) : アクセントカラー（強調色）

pptx

「新規作成」をえらんだ場合、左のパワーポイントファイルが使用されます。

③ 色が変更された新しいファイルをローカルに保存する。



配色タグの付け方

① 色を変更させたい図形や文章の末尾に(base)または(sub)、(accent)と追加する。

文字列完全一致により色を変更させるかどうかを判定しているので打ち間違いがないように気を付ける。

(base) : ベースカラー (背景色)

(sub) : サブカラー (図形の色)

(accent) : アクセントカラー (強調色)

② タグの色を透明にする。

